



各位

2020年11月5日

上場会社名 株式会社神戸製鋼所
 代表者 代表取締役社長 山口 貢
 (コード番号 5406)
 問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長
 中森 慶太郎
 (TEL 03-5739-6010)

第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2020年8月6日に公表した2021年3月期第2四半期累計期間(2020年4月1日～2020年9月30日)の連結業績予想及び個別業績予想と、本日公表の同実績に差異が生じました。また、足下の業績動向を踏まえ、2021年3月期通期(2020年4月1日～2021年3月31日)の連結業績予想及び個別業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 第2四半期業績予想と実績との差異について

2021年3月期第2四半期(累計) 連結業績予想数値と実績との差異 (2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	770,000	△ 50,000	△ 60,000	△ 35,000	△ 96.49
実績(B)	776,406	△ 27,142	△ 35,259	△ 15,209	△ 41.93
増減額(B-A)	6,406	22,857	24,740	19,790	
増減率(%)	0.8%	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	944,464	7,443	1,493	△ 6,281	△ 17.32

2021年3月期第2四半期(累計) 個別業績予想数値と実績との差異 (2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	410,000	△ 55,000	△ 30,000	△ 82.56
実績(B)	410,153	△ 34,907	△ 15,795	△ 43.47
増減額(B-A)	153	20,092	14,204	
増減率(%)	0.0%	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	501,612	1,907	179	0.49

2. 第2四半期業績予想と実績との差異の理由

前回(2020年8月6日)公表した業績予想では、新型コロナウイルス感染症の影響(以下コロナ影響)による需要減少に伴い、素材系事業を中心に販売数量の大幅な減少を見込んでおりました。第2四半期累計期間においても経済環境は依然厳しい状況で推移しましたが、自動車向けを中心に需要の回復が想定よりも早まったことや、緊急収益改善策などによるコスト削減、鉄鋼の減産幅縮小に伴うコスト改善、在庫評価影響の好転などから、前回公表時より改善しました。

3. 通期業績予想の修正について

2021年3月期通期 連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,640,000	△ 35,000	△ 60,000	△ 35,000	△ 96.49
今回発表予想(B)	1,650,000	△ 15,000	△ 35,000	△ 15,000	△ 41.35
増減額(B-A)	10,000	20,000	25,000	20,000	
増減率(%)	0.6%	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	1,869,835	9,863	△ 8,079	△ 68,008	△ 187.55

2021年3月期通期 個別業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	880,000	△ 60,000	△ 30,000	△ 82.56
今回発表予想(B)	900,000	△ 35,000	△ 15,000	△ 41.28
増減額(B-A)	20,000	25,000	15,000	
増減率(%)	2.3%	-	-	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	995,447	△ 14,269	△ 48,759	△ 134.22

4. 通期業績予想修正の理由

前回(2020年8月6日)公表時と比較すると、素材系事業では、自動車向けの需要の回復は前回想定よりも早まっておりますが、航空機、造船向けは第2四半期より徐々にコロナ影響が顕在化し始めました。また、企業の設備投資の圧縮・繰り延べの動きを受け、今後機械系事業を中心に影響が出る可能性があり、売上高は前回並を想定しています。

一方で、全社を挙げてさらなる収益改善に取り組むことや鉄鋼の減産幅縮小に伴うコスト改善、在庫評価影響の好転などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、前回公表した予想を上方修正しております。

個別業績も同様に、経常利益、当期純利益の予想を上方修正しております。

(注)上記の業績予想につきましては本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上